

教育民生常任委員会会議録（平成22年3月8日開催）

- 1 日 時 平成22年3月8日（月）10:00～10:30  
2 場 所 役場4階 第2委員会室  
3 出席者 委員長 高橋 寿 副委員長 高橋盛佳  
委 員 相原孝彦 西村 繁 山谷 仁 山本 博 川原 清  
事務局 主任主査 勝田裕征

4 審査事項 請願第1号

「後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書」の提出を求める請願書  
紹介議員 武田猛見議員

高橋委員長 本日は委員会付託の審査をお願いいたします。只今の出席者は7名であります。定足数に達しておりますので会議は成立いたします。

これより請願第1号「後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書」の提出を求める請願書を議題といたします。

本請願の紹介議員である武田議員より趣旨説明をお願いいたします。

武田議員 後期高齢者医療制度そのものについては、皆様ご存知ですので説明を省略いたします。国会でも後期高齢者制度については、廃止をすべきだという意見がある中で、この請願の趣旨としては前の老人保健制度に戻すこと、その上で改めてどの様にしていけばいいのかという方向性を定めるべきだという立場に立って、請願の中にある後期高齢者医療制度を速やかに廃止し、もとの老人保健制度に戻すこと、また保健制度に戻すということは国民健康保険からの操出で制度が成り立っていたので、その際に保険料の負担が新たに生じることがないように国民健康保険への国庫負担を増やすなど財政措置を講じることが請願の趣旨であります。

高橋委員長 先般、見直し案として岩手日報に掲載されていたが、国の補助が50%、若者の負担が40%、本人負担が10%という現行を本人に厳しくなる暫定案となっていました。その辺りも踏まえて質疑に入ります。

【武田議員退席】

質疑

相原委員 後期高齢者医療制度はもともと、地方自治体がこのまま老人保健制度を維持していけない、というところから始まっている。それに対して、今回の請願はもとの制度に戻して、国庫負担を増やしてほしいという内容であるが、果たして国がその財源を確保できるのかははっきりしない。その中で、本当にもとの制度に戻せるのか。疑問だ。

もう少ししっかり勉強した上で取組んでいくもの考える。

討論

高橋副委員長 後期高齢者医療制度については、当初から議論があつて、現在の連立政権においても廃止という方向になっている。問題は老人保健制度に戻すかどうかということ。今回の提案のようにそのまま老人保健制度に戻すということであれば、今までやったことは何だったのかということになる。出来た制度の上に立って新しい方向性を見出していくことが良い政策に繋げていける。まさにその方向で連立政権は考えているようだ。その報告を待ちたい。今すぐこの意見に賛成は出来ない。以上の理由から反対とします。

高橋委員長 他にありますか。  
委員 なし。

**採決** 賛成者挙手により採決を行った結果、賛成少数（1：5）で不採択と決した。  
（10：08）

## 5 協議事項

### (1) 所管事務調査報告書について

高橋委員長 皆様から提出いただきました報告書を纏めました。ご意見お願いいたします。  
山谷委員 4、考察中の（1）国民健康保険についての中で6行目に意味がうまく繋がらない。  
高橋委員長 「また、21年度は新型インフルエンザの影響もさることながら、健康診断の受診率の低迷が大きく影響し、重篤になってから受診するため高額医療費の増加が著しくなっている。」に直します。  
高橋副委員長 事は漢字でいいか。  
高橋委員長 ことに直します。  
山本委員 報告書なので、考察の前に調査内容が欲しいが。  
高橋委員長 今までの委員会報告を見ると、考察で終わっているものと、調査内容と考察が入っているものとある。今後教育民生常任委員会としては、調査内容を入れることとする。  
高橋副委員長 一つ提案です。議員各自が提出する報告書の統一様式がないので、議会運営委員会などで提案してみてもいいかでしょうか。  
高橋委員長 分かりました。教育民生常任委員会所管事務調査報告書については御一任いただきたいが宜しいか。  
委員 異議なし  
高橋委員長 ではそのように取り扱います。

### (2) 閉会中の継続調査について

高橋委員長 役場組織の変更もありました。所管事務はお手元の資料の通りであります。みなさんからご意見を頂いて決めたいと思います。直ぐには無理かと思っておりますので、予算審査特別委員会終了後にもう一度教育民生常任委員会を開催したいと思っております。宜しいですか。  
委員 異議なし。  
高橋委員長 日程については後ほどお知らせします。

## 6 その他

山谷委員 先日開催しました滝沢村PTA連絡協議会との懇談会の中で出た意見について各担当課の回答はどうなったのか。  
高橋委員長 2つ同時に開催した懇談会の内容は、現在纏めるように指示してあります。内容については、一度委員にご提示したい。その中から、行政に対してお願いするものを決めていきたい。  
山谷委員 振り分けについては、委員長に一任します。なるべく早い段階で出せるようにお願いしたい。  
高橋委員長 分かりました。

高橋副委員長 確認ですが、P T A連合会は教育委員会と議会を隔年で開催していると言っていたがその認識で宜しいか。

事務局 その認識で宜しいです。

【終了10:30】